

## **C.【給与所得者、自営業の皆さんへ】職場や労働環境、営業上の不安や悩みをお聞かせ下さい**

### 給与所得者

- ・仕事量の減少（60代男性）
- ・リーマンショック以降仕事が激減して生活が苦しいです。（70代男性）
- ・仕事が激減し、唯一のお得意様からは売り上げ3割カット。その為、ボーナスは去年の冬から支給されず、全く良くなる兆しが見えない。会社が続くのかも心配。もしその場合、再就職も心配。（40代女性）
- ・契約社員なのでいつ解雇されるかの一抔の不安はある（60代男性）
- ・精神の健康を害する人が多い。ストレス過多になっている。またその事への対応の時間、労力を使うことが多くなっている。（50代男性）
- ・仕事がハードでなかなか休めない（30代男性）
- ・他に仕事がないから現状で我慢している（60代男性）
- ・不況、倒産。（30代女性）
- ・正規社員の負荷増、非正規社員の人数増。どちらも大本は経済構造の転換への対応の遅れに要よると思う。（30代女性）
- ・不況による所得不安（60代女性）
- ・500～600万払って欲しい。見合いません。（40代男性）
- ・品川区内の日経新聞販売店に勤務していますが、去年何の告知もなく社員の給料や住宅手当や賞与を含めて年収で2割程カットされました。社員の代表者が説明を求めましたが、不満を持っている人物を特定しようと犯人探しのような事ばかり言い、何ら説明はありません。労務所も不景気で同様のケースが多数あるせいか、何ら働きがありません、私の職場ではあきらめムードですが、他でも同様の事が無いように、労基署サポートに力を入れて欲しい。（30代男性）
- ・生活が非常に苦しい。家賃が高い。（90代女性）
- ・日常的に贅沢な生活はしていないので暮らし向きに変化はありませんが、売り上げは少し落ちています。（60代女性）
- ・年齢的に自分ではまだまだ働けるし、働きたいのですが、雇用する側ではそろそろ限界かもと思って切られると思います。（70代女性）
- ・パート先の景気も良くなり、主人の会社も年俸制になったものの実質上は減給。老後が不安です。（30代女性）
- ・昨年パートを半数リストラして、その後も仕事量が増えていので今後が心配。（女40）
- ・職場環境には満足している。（20代女性）
- ・給与が低い。（30代女性）
- ・工夫しないと働くのも大変（法を知ったり、気をつかったり）。そもそも問題が発生しても裁判すら戦えない（お金ないから良い（最低限の）弁護士もつけられない）（40

代男性)

- ・老後の収入、年金だけでは苦しい。(男性)

- ・62歳になります。病気をしすぎてあまり仕事ができず、何回か生活保護のお願いに行っただのですが思うようにいかず困っています。(60代女性)

- ・高齢なのでいつパートの職、失うかも知れず、先は生活保護に頼らざるを得ない(パートの収入無くなると国民年金、月額65000円のみ)。それ考えると気が重い、なるべく「公費に負担」は頼りたくない。もっと困窮の方もいるわけだから。(80代男性)

- ・男性上司にイヤミや協力しない態度。子供の行事に参加できない。風邪などで休みを取ろうとしても「やめてもらっていいんだよ」など休みがとれない様に追いこむ。仕事の責任もあるが休みがとりやすい環境を作ってほしい。(30代女性)

- ・さまざまな職場に就いたが、最近、特にどの職場も無秩序にまかせているところが多い。一部の個人の都合によって組織が統制されている。それだけ、人々に労働に希望がなっているのだろう。(50代女性)

- ・雇用不安。残業とパワハラが多い部署で、スキルは身につかないがストレスはたくさん。体調をこわして、診断書も出したが、だまされるようにして、何の対策もないまま1年すぎた。(20代女性)

- ・正社員と同じような仕事であっても、派遣は派遣の待遇でしかなく、見えない線引きを感じる。チャンスがあれば正社員を希望しており、探すも年齢制限等もあり難しい。このまま派遣のままでは将来が不安で先のことが見えない。独身なので自分で何とかしなければという気持ちでいる。(40代女性)

- ・単価が安いらしく、良い仕事につながらない。体力的、精神的に余裕がなくストレスになる。(30代男性)

- ・会社を退職後の不安。(40代男性)

- ・国が大きな借金をかかえているのに、社会は老人が増え続ける中で、福祉を大幅に減らして欲しい。(40代女性)

- ・自分はよいが、息子2人(30代)の職がみつからず困っている。(50代女性)

- ・人件費削減の名のもとに職員が減らされ、1人の負担が増える中、給料を減らす一方ではこの先続けようと思わない。人を減らすなら残業代くらい100%払ってほしい。現在は平均30%程。江東区職員。(20代男性)

- ・品川区に越して、千葉在住時より住民税高額で困っている。年明け出産予定だが、保育所も見つからず仕事復帰も断念の可能性高い。現在給与は高いが外資系で解雇リスクがあり、退職金や老後保障もなく住宅ローンでひっ迫している。(30代女性)

- ・コンビニで働いていますが、タバコの販売について意見があります。未成年に販売すると店側が処罰されます。店側ばかりに負担がかかりすぎてます。買う方も悪いと思うので(店側は好き好んで未成年に販売しません!)買う方にもっと処罰を!! それか、タバコを買う際は、必ず身分証明書を提示しなければならないという法律を使ってほし

い！！ 「身分証明」提示をお願いするとお怒りになるお客様がたくさんいます。売方の事をもっと考えてください！！ 「お客様は神様です」が根付いているので、店側は悪い事をしていないのにやつあたりのような事をいわれたり、罵声をあびせられます。まず、そういう姿勢を変えてほしい。私たち店員も人間です！ 未成年に売ってはいけないものを、誰でも利用できるコンビニに売る事がおかしいと思います。未成年にタバコをすわせたくないのであればもっと考えてください！！ タバコはタバコ屋さん、お酒は酒屋さんのみで販売するようにしてください！（30代女性）

・一応パートですが次の契約があるかどうかは疑問です。先行き真っ暗です。（60代女性）

・正社員と同じ内容の仕事をして、格段の給与差があり不公平感を感じている。（50代女性）

・飲食業のため、出産後も仕事を続けたかったが、夜間（も、昼も）子どもの預け先が見つからず、再開の目処が立たない。（30代女性）

・客からの受注数が激減した。また単価を下げないと契約が難しくなってきた。（30代男性）

・障害があるため朝夕のラッシュ時の通勤が難しく、安定した職を得たいと希望し続けているが、実現できず年令を重ねている。（60代女性）

・現在55歳ですが、後5年です。それまで会社がどうなるかが心配です。（50代男性）

・何につけ、前年度の所得を基準にする仕組みを改善して欲しい。前年度と今年度の所得が同様とは限らない世の中です。（40代男性）

・労働等に関しては問題ないが、保険料、医療機関の金額がひじょうに高くなった！！（60代男性）

・給与は減るばかりで上がらない。（30代女性）

・仕事がきついのに、時給が安い。常勤が働かず、パートをこき使う。（40代女性）

・年金負担が重い。払っても返ってこないなら、払わず自分で運用したい。（60代）

・まもなく年金生活になります。増税と支給年金低下が心配です（30代女性）

・国内の業務が空洞化し、海外へのアウトソーシングが進んでいる。国内企業が技術開発力は実務の注力ができるよう、労働環境の自由化を進めてほしい。Faxconn等中国のEMCS企業に見学に行くと良いと思います。（30代男性）

・家のこと（子どもが10才の障害有と、3才）で思うように働けない（40代女性）

・都営（区営）住宅を作ってください。（70代男性）

・給料がもう少し高くなればいい。派遣だからいつ切られるかつねに不安。（20代女性）

・会社が社員を大切にしない傾向にあると思います。会社としても将来の方向性がはっきりせず社員を増やすことに抵抗があると思います。（50代男性）

・60歳が定年という常識の世の中が変ってくれればと良いと思う。（40代男性）

・職場、労働環境良い。昇給や賞与を考えてほしい。※2年前にフルタイム派遣社員を

失業しました（運輸業）。（40代女性）

・給料、休みが望ましいが、国のしめつけで会社の収入が減ってきているので、あきらめるしかないのか。（60代女性）

・働けど働けど・・・という思いです。（60代男性）

・派遣で仕事に入りましたが、業務を知らない若い社員ばかりなので会社として必要と思われ、派遣会社への経費を減らすため社員雇用と言われたが、景気を考えいつでも辞めさせられる様に、アルバイト契約にされてしまった。（年齢的にどうせ次がないから、若い人に早く業務を教えれば、若い人の方が給料が安くすむ為）。会社はインターネット通販で業績は良いが、社長・社員で利益を分けてアルバイトには還元されない。会社に永く勤めることを考えていない為、今が良ければ良いという考えの人が多く、人の技術・知識・意識が大変低下していると思います。終身雇用が全て良いとは思いませんが、技術マップで転職して成功できるのはごくわずかです。退職金のない会社も多くなっている今 40代以下の小企業で働いている人が退職したら、生活できない人が多くなりそうです。将来が不安です。（50代女性）

・今生活では、営業はだんだんくるしくなるばかりです。消費税は2000万以上からにしてください。大会社は法人税さげて、小企業はおなじ税をさげてください。（80代）

・労働時間の長さが健康的な生活を阻害している。又、職場に労働安全衛生法が適応されていない。設置者（教育委員会）の実行する意識が低い。（50代女性）

・人が減って仕事がかつくなり、給料が下がって行くので困ってます。（50代男性）

・年々売上げが減少する。（60代男性）

・夫を16年前に亡くし、今後の生活が苦しいです。（60代女性）

・労働時間が長過ぎる。（30代男性）

・住民税と国民保険料が高すぎると思います。年金まで払えないです。（20代男性）

・夫の職場が景気が良い気がしない。子供は一人だが出来れば二人以上欲しい。でも私が働いても稼げる額ではないので（パートでは少なく、正社員では保育所の不安）。子供をもっと沢山作れる環境が欲しい。（20代女性）

・不景気により会社の経営状態も悪くなり、いつ仕事がなくなるか不安。この先の生活が不安。（40代男性）

・“実力主義”とは言いながら同じ等級の中での相対的評価をするシステムなので、評価は上がらず、給料が頭打ちになってしまい、モチベーションが上がらない状況です。（40代女性）

・仕事がきつい。営業のノルマがうるさい。（50代男性）

・労働がきつい。責任が重いわりには、給料が安い。女性が多い職場で、人間関係が複雑。（30代女性）

年齢と共に仕事が減ってきた。職を選べず。（30代女性）

・したくなかったわけではなくできなかった結婚。このままシングルでもいいんですが働けなくなったら誰が面倒みてくれるのか心配。就職したくても年齢のせいでむずかしい。(30代)

・私の勤める所は年功序列の考えが強く、勤続年数が10年程度の者は業績を上げても給与、賞与には一切反映されず勤労意欲が削がれるだけでなく下流階級から抜け出せない。東京港自動車整備事業共同組合(40代男性)

・もっと給料を上げてほしい。(ボーナス低い(30代女性))

・派遣で年100万円弱、2~3年かせいでいるが契約継続するか年なので不明?(60代男性)

・(元)社会保険、有給休暇等一切なかった。(50代女性)

・①公共交通等、駅等のバリアフリーを進めて欲しい。②子供手当等、バラマキはやめて欲しい。(60代女性)・大企業に移りたい(60代女性)

・社員と派遣の差が一向に変わらない(給与、厚生面など)→派遣問題を忘れられている。(30代男性)

・今年一杯で勤め先が廃業します。十年前、リストラにあった時も仕事がなかったのが不安(60代男性)

・福利厚生が大変弱い事(50代男性)

・比較的民間よりは恵まれているが職場のみんなの余裕のなさから人当たりがきつくなったり、本当に必要な仕事に手がまわらなくなっている。(30代女性)

・現在育児休業中です。会社の制度としては子どもが3才になる誕生日の前日までが育児がとれますが1才をこえてから(保育園に入れないと1才をこえてからは)給料はなく社会保険料を支払わなくてはならないので大きな負担を感じます。(30代女性)

・パートです。早朝手当を減額されたり今年からパートの賞与もなくなった。頑張っているわりには時給は上らず働きがいがない(60代女性)

・アルバイト先の親会社の勤務態度 check がストーカーのような見張りとおしつけ、従わないとやめるように仕向ける。(60代女性)

・会社の売り上げじょうきょうがまだ回復していないので社内の雰囲気も良くないです。なのでなかなかモチベーション上がりません。(30代女性)

・人べらしのため一人あたりの業務量が増加。残業続きで家事休憩の時間が全くとれない。(50代女性)

・会社が不景気で雇用が安定していない。又、給料がおくれ、又支払い不能におちいつている(50代女性)

・正社員以上に働いています。がボーナス等はなしです。部署が経理なので業務が残ることがあるのに定時で上るように言われます。とはいえ、誰かがやってくれる訳ではないのです…。(30代女性)

・給与があがらない(40代女性)

- ・正規職員が減員となり私のような非正規が増えている職場です。面倒な仕事や“正規が”ウツになってしまうような仕事はどんどん非正規にまわされてきます。上司は大半の日、先に帰ってしまいます。使い捨て感覚で雇用されていると感じ不安です（40代女性）
- ・今年は派遣の仕事は6ヶ月しか見つけられなかった。正規社員になりたいが（沢山受けているが）受からない（40代女性）
- ・不景気のため先行の雇用が不安（30代女性）
- ・長期雇用、正規社員雇用が少ない（30代女性）・給料は上がり評価で給料UPという暮らしづらくなった。介護保険料等、支払いが多すぎる。（50代女性）
- ・パートタイムで働いているが良くいえばワークシア、2人で一日おきの出勤になり時間数が少なくなった。（50代女性）
- ・タクシー業界へ転職3年目、多くの同僚が立ち去る激しい変化の中に居ります。仕事完全歩合給でも働けるだけ良しとするか…（50代男性）
- ・労働時間が長い、時間給が安い（60代男性）
- ・公共投資が減らされ売り上げが減少している。ある程度の公共投資が必要と思う（60代男性）
- ・安い給与で働かされ少しでもクレームを言うと「どれいが文句言うな」と言われます。派遣には人権がないのでしょうか？（30代男性）
- ・残業代が出るので文句は言えないが、仕事量が多く、残業が多い（30代女性）
- ・給料が少ない、仕事の環境の悪化、仕事場の上下関係が激しい。特にお客さんの出入りが少ないとき（30代女性）
- ・職場、労働環境に対する不安、悩みはナシ（30代男性）
- ・非常勤（パート）は社保3点セットがつかない。子どもが退園してしまうので保育園に行かせるために働き続けなければならない。（事情があっても退職できずにいる。）（30代女性）
- ・得意先のががままに営業社員や電話対応も振り廻されていることが理不尽だと思います。利益の大きい所は契約を打ち切られるとか、金額が決まった後に金額を下げて入金されたり・・・とか（50代女性）
- ・給与が多く受取れることが望ましい（60代女性）
- ・能力の無い人ばかりが残業時間数が多く、給料も多いのが腹立たしい。会社に訴えても改善の余地なし（40代男性）
- ・BtoBのサービス業ですが、顧客の獲得が難しく、単価も下がってきており、社内全体が暗い雰囲気。冬のボーナスも、契約時の提示された金額の二分の一以下しか出ず、不満が溜まっています。若い世代が安心して就業できる条件を整えてほしい。（20代女性）
- ・給与の減少が生活を圧迫するようになったので、転職することにした。（20代女性）

- ・夫も私も国家公務員。一般的に国家公務員の超過密勤務はひどすぎると思う。現在、一歳の娘を子育て中だが、夫の帰りは真夜中で、平日は母子家庭状態（私は育休中）私が職場復帰したら、どうやって子育てするのかわからない。超勤を少なくして人間らしい生活をさせてほしいと願う。（30代女性）
- ・正規職員が減らされ非常勤・臨時職員が増え、正規職員の負担が大きい（40代女性）
- ・生活保護（なし）
- ・職場に厚生年金も事業主の負担もなく、損をしているかんじ。事業主が個人だと言いきなりになるしかない。頑張っても、補遺気宇園のお迎えに間に合わず時間外料金かかる。無駄な感じがする。（30代女性）
- ・育児をしながら仕事についている事を理解してもらいにくい。子供の病気での早退、欠勤を理解してくれる職場が少なく、働きたくても働けない（30代女性）
- ・暮らしが苦しくなっているのに議員さんの暮らしが良いのはなぜ（40代男性）
- ・会社は赤字経営のまま、給与カットは継続中。年収も減る一歩で、子供の学費は増大傾向。小中一貫校の制服代も高く、買い替えが悩みです（30代女性）
- ・年々給与も減り、職場・労働条件が改悪されている。経営者は不景気という理由だけでどんどん労働条件を改悪させて、仕事があるだけまだ良いと思っているけれど、これから先が心配です。まだ子どもがいないのですが、これからほしいと思っているので、この世の中の不景気で子供を育てられるか不安です。（30代女性）
- ・年金が減るのではないかという不安が大きい（60代女性）
- ・給与は下がり、賞与も凍結され、福利厚生は元々充実していないので仕事のモチベーションは上がらず、その一方で職場では多くのことを求められづらい。バブル期にいい思いをした年代の人がたいした仕事をしないのに、下の世代ばかり苦しい思いをして割が合わない（30代女性）
- ・大企業が不調だと、仕事が来ないので残念（50代男性）
- ・政治家が経済原理を全く理解しておらず、その事を自覚していないこと。日本を社会主義にしようとする勢力が強まっていること。（50代男性）
- ・社会が赤字続きで、今年は1月と8月に給料が下がり、数年前よりボーナスもなく、生活が苦しくなった。子どもが、高校を卒業して数年になります、契約期間社員と無職です。子供達の将来が不安です。（40代女性）
- ・成果主義とか外部（または自己）評価とかいうもの6つ導入されつまらないペーパーワークや外受けを狙ったことが増えていると感じます。本業に専念できる状態になってほしいものです。（50代女性）
- ・これからの未来（30代男性）
- ・現在58歳、もうじき59歳。契約社員で一年契約で更新。将来、景気の動向で更新されなくならないかが心配（50代男性）
- ・70歳になると仕事はしたくても無理です（70代男性）

- ・これ以上不安定な生活は困る（80代男性）
- ・有休の取り辛い環境には悩むことがあります。（20代男性）
- ・控訴中、職場で孤立されている（50代男性）
- ・景気が悪くて、毎月毎月給与が出るのか心配。中小企業なのでいつ潰れてもおかしくない状況、税金が払える企業の減税より、中小が生き残れる施策を望む（50代男性）
- ・景気が悪く、収入が増えない（50代男性）
- ・任期制の職種について誰も考慮してくれていない。無念金の人も大変だが、厚生年金に加入させられ、高い保険料を取られているのに、数年で任期が終わるので、中途退職的扱いになり、納めた分すら将来もらえない。無念金の方がまだ良い。この様な現在普通とされている。勤務形態以外の雇用形態による不利益は多い。（40代男性）
- ・「プール監視員」人件費削減で雇用が減り、一人ひとりが以前より3人以上やらされている。事故が起きたとき大変。そのくせ社員はバイトにやらせて寝ている。客に声かけられても相手するヒマもない。区の施設なのに区のスタッフは分かってないと思う。区民利用しているがご存知だろうか（40代女性）
- ・不景気で、会社内も忙しく（人員削減でギリギリの人数でやっている）産休、子育て品川の短時間労働に対して反感がありそう。ママ社員がいることが会社にとって有利になるような仕組みが必要（30代女性）
- ・残業しても残業代が出ない。年休や有休があまりとれない。仕事の内容が多すぎる（20代女性）
- ・パワハラ、セクハラ、特に業務外のノルマなどがあり、上司からの圧迫を感じる（20代女性）
- ・妻が契約社員のため、身分が不安定で心配です。正社員化も先送りとなっています。当方は、9月に失職し、求職中ですが、一つの求人に多くの求職者が応募する状況です（30代男性）
- ・65までは属託で働けそうですが、それからの年金のみの生活は不安ですね。（60代男性）
- ・いつリストラにあうかわからない。景気が不安で独立できない（30代女性）
- ・リストラ・給与ダウン、色々対策を取りやっている様ですが、この不安定な時、厳しさは小企業にますます追い討ちをかけております。又、働きたくても辞めなくてはいけない方もおり、これからをどの様に生活、仕事をやれるのか・・・小企業の進む道を考えさせられます（50代女性）
- ・今まで働いていた所では有休がありましたが、今の会社ではない。その事を社長に聞くと、じゃ他のそうゆうのがある所へ行ったら、と言われるし健康診断も無く個人で仕方なくやっている。正社員といいながら他の人も同じ。これってありですか。（60代女性）
- ・労働時間が増えた。退職者が出ても補充が無い（30代女性）



- ・お客様が理不尽なことを求める度合いがひどくなった（40代男性）
- ・町工場の疲弊に伴い関連業種もまったなしの状況に追い込まれている（40代男性）
- ・いつ解雇されるかわからない（40代男性）
- ・年金生活。年収¥150万以下ですよ。それでも一生懸命生きています。役人は、どれだけお金をほしいのですか？（70代女性）
- ・飲食業の為、お客様が外食しなくなった。お弁当を自宅から持ってきて（50代女性）
- ・年金生活者ですが、私でもかなり税金をとられているがそれ程取ってもたりないのは税金の無駄遣いが多いのではないか（70代）
- ・年金を受けられるか心配（50代男女）
- ・社会保険料や税金が上がるため手取り給与が変わらない。子供が進学するたびに出費がかさむこと。将来の低年金が心配。生活出来るのか不安。（40代女性）
- ・派遣法、労働法、雇用機会均等法、年齢制限の禁止など、全く守られておらず、労基署、東京労働局では強制力がない事を言い訳にチェックもしていない現状。そういった企業へは、法人税減額せず増税する、あるいは企業名公開して欲しい。労働者は、法では守られていない。（40代女性）
- ・いつまで働けるか不安。年々所得が下がるのに比例して税金だけは上がるのでいい加減にして欲しい！取れる所からとれ！税金を！（50代男性）
- ・残業代の出ない会社なので、頑張っても収入は増えないし、中小企業なので正社員といっても安定した雇用とは言い切れない（20代女性）
- ・残業カットなどで収入が減少。生活が苦しい（30代男性）
- ・人員削減で業務量が増大し、身体的にも精神的にも負担がすごく苦しい（40代男性）
- ・自分の立場、環境はそれ程悪くないが、周囲は苦しい状況。自分だけがよいという時代は結局長続きしないはず。ある程度、格差を小さくしたい。若い人の教育観が変わりつつあり、長い目で見たとき、どうなるか不安あり（40代男性）
- ・給料を増やす。設備投資をする。といったことが無く、コストカットのことばかりで先行きが不安。外国人労働者、アルバイトなどへの依存が増えているようで、危ないのではないかと感じてしまいます（20代男性）
- ・体調不良で休んでも給与削減で、事実上有給休暇もありません（30代女性）
- ・いつ解雇されるか不安の毎日（60代男性）
- ・中小企業のせいか、有給休暇の取得に社長の許可が必要で、ほとんどの人が使用していない。自分ももう何年も取得していない。有休とると精勤手当が給料から引かれる（40代女性）
- ・中国市場での売り上げ、日本市場の中で中国人観光客頼みの今の会社の成長の状態。今後ずっと続くはずはなく、もっと健全な方法を今からしっかりと考えておくべきと思う（40代女性）
- ・今後所得は下がり、税金などが上がると思うと将来が不安です（30代男性）

- ・会社は将来大丈夫なのか、退職金を見込んで家を買ったが、退職金はもらえるのか (30代女性)
- ・赤字で人減らしが行われています。社内での異動も求められましたが、異動先は自分で探すようにという不安なやり方です (40代男性)
- ・ボーナス、有給休暇がなく、不安定かつ苦しい。(50代男性)
- ・契約社員です。会社の一方的な理由で契約更新の打ち切りがあるかも知れず不安です (50代)
- ・100%歩合制、東京一の最悪歩、労働法無視 (50代男性)
- ・正教員と非常勤者の待遇にあまりにも差がありすぎる (50代男性)
- ・現在、育児休業中です。会社の制度としては、子どもが3才になる誕生日の前日まで育休がとれますが、1才をこえてから(保育園に入れないと1才半こえてから)は給料はなく、社会保険料を支払わなくてはならないので、大きな負担を感じます。(30代女性)
- ・社会保険料が毎年上がって、もらえる給与は下がる一方です、介護関係の仕事をしている方々は給与も低く、かわいそうです、この収入では結婚もできません、天下り等でたいした仕事もせず高級をもらっている人々は許せません、税金の無駄遣いです。(50代女性)
- ・会社負担ですが、社会保険料が高い。2月19日のTV東京週刊ニュース新書では新宿区かな?時給800円で保育アルバイト(ボランティア)を扱っていました。品川区でもまねしてはいかがでしょうか。(20代男性)

### 自営業者

- ・中小企業で不安定要素が多く、生活を考えると非常に不安(定)です。(50代男性)
- ・売上げが下がって利益がない。(80代男性)
- ・別になし (70代男性)
- ・体力的に自信がない。(70代男性)
- ・個人タクシーです。新車買替の時期がきても車がける状況にない(売上げが1日1万円台では無理です)。(60代男性)
- ・3年前より売上げ減りすぎた。(60代男性)
- ・私は工務店を経営しています。ご存知かと思いますが、町場の仕事がありません。今不安であることは、東京ガスの各家に対する必要以上の営業活動です。おそらく私達の仕事はこれからもなくなると思います。若い人の技術の習得もなくなると思います。(60代男性)
- ・麻雀店してますが閉店休業。自分の家なのでそのままにしています。(70代)
- ・2の状況について。家賃、駐車場は不況のあおりを受け、時々空きが出るのは現在の悩みです。(70代女性)

- ・パートで働いていますがいつ首を切られるかビクビクしながら働いています。先々が心配です。(60代女性)
- ・税理士業小企業最悪ではないか。利益の出るところが少ない(80代男性)
- ・パートと考えている(70代男性)
- ・年ごとに不景気のあおりを受け、仕事の受注高が減少している。また、材料費(主に貴金属類)の急激な高騰により利益が減少しています(50代女性)
- ・リーマンショック以来仕事(建設・積算業)が入らない月があり事務所の経費、返済金、課程の生活費が0の月もありました。妻のパート収入で最低の食費をやってきました。ピアノ、時計なども売らざるを得ませんでした。困った時、お金を貸してくれるところが必要です。首を切るしかないと思ったときもありましたが、先月位から仕事がけっこう入るようになり、何とか生きています。ただ来月入るかどうかわかりません。家のローンも月20万で残っており自営業さえ普通に廻っていけば何とかできます。家を売ろうにも残債があるため売ることもできません。貯蓄も使いはたしました。やった仕事の入金がどこも苦しいため3~6ヶ月先というのも痛手です。こういう自営もあるということを恥ずかし乍ら訴えたいと思って書かせていただきました。ストレス、不安で一杯の毎日を生きています。(乱筆にてお許し下さい)(60代男性)
- ・勿論この不況により得意先は数多く倒産。これにより受諾額も激減。生活そのものが四苦八苦(70代男性)・銭湯をやっています。お客さんが少なくなりました。不況だという所から減らしていくんだと思います。不況が続けば子供の代まで続けていけるのか不安です。また子供もつぎたいと思えない!!です。(30代女性)
- ・正社員がみつからずパートで働いています。書類がなかなか通過しないので偶然受かったところで働いていますが、今就活の時間もないしかとって仕事をやめることもできません。もっと募集が増えればいいのに…と思います。(30代女性)
- ・年長者にもっと仕事が欲しい(80代男性)・
- ・景気のせいにしてる経営者が多くて情けない。やる気次第でいくらでも稼げる(20代男性)
- ・取引先の業者が急に少なくなった(連鎖反応)(60代男性)
- ・営業面積を広げたいが、資金がない(70代男性)
- ・リーマンショック以来製品の注文や数量も減り、全体の売上も減ってしまいました(60代男性)
- ・景気の影響で仕事が激減。(60代女性)
- ・皆さん年齢が70歳くらいの方が多くなり私どもも先行き不安があり、どうなることやら心配しております。税金、介護保険など重くなっております(70代女性)
- ・虎は死して皮を残し、ではない人生を目指すと、営業上の不安など雲散霧液である(40代男性)
- ・経済のアンバランスな状況(景気・不景気)を政治・財界が改善できるのか不安。(60

代男性)

- ・子供の教育の仕事をしているが、子どもが忙しすぎる (50代女性)

- ・仕事が無くなって来ている (50代男性)

- ・手間代が安くなってきた。休日が多くなりお金が入らなくなって困っています。休日が多すぎます (60代女性)

- ・社会全体が不景気の為か、営業が苦しく収入が年々減少 (80代男性)

- ・内装業をしているものですが、そこそこ、仕事があり、お客様に感謝です。(60代男性)

- ・リーマンショック以降、一層売り上げが厳しくなったと思います。(30代女性)

- ・仕事が激減してお先真っ暗で～～す (50代女性)

- ・材料費などの値上りに対し、そのコストを商品にのせられない。逆に値下げ要求がある。将来には不安だらけ。年金などもらえるのだろうか。自衛を考えるしかないのか (50代男性)

- ・毎月々の給与の不安を無くして欲しい (60代女性)

- ・仕事が少なくなった。(70代男性)

- ・仕事が少なくなった(50代男性)

- ・仕事確保が不安。引退の年令と思うが、引退できる社会保障の充実が望ましい (60代男性)

- ・売り上げが少なくなってます (60代女性)

- ・ここ数年、銀行、信組、信金の融資の姿勢は酷すぎます (特にメガバンク、信組・信金) 故小淵総理が行った保証制度のような政策をぜひ実現して欲しい。旧政策では、国の借金が増えたのは、例えば“10年以上返済延滞がない事”等の条件をつけると非常に大きな返済政策になり、中小は復活すると思います。ぜひ実現を (50代男性)

- ・運転資金に悩んでいるのに金融機関は融資話には耳を貸してくれない。金融機関全体に不信を持っています。(60代男性)

- ・大不況のため、全体に活気がない (80代男性)

- ・仕事の減少とダンピングによる価格破壊 (報酬や賃金でないという根本問題が問われる) =失業者の増大。公務員の権限強化が極めて危険。(40代男性)

- ・売り上げ減で先行き不安 (70代女性)

- ・年々売り上げが減っています (60代女性)

- ・40代だとまともな職に就けない。地方の地場産業を育て、そこに多くの若者や失業者が働ける仕組みが作れないと、日本が無くなってしまうと心配している。(40代男性)

- ・長男に助けてもらって暮しています。(80代女性)

- ・子育て後、就職した時、国保が高額で驚きました。相互扶助なので老齢になった時は若い人が助けてくれるからと、説明がありました。しかし老齢になると老人が多いからと、介護保険料まで取られます。これは、精査の誤りではないですか。50年、100年の

長期にわたる計画を立ててほしいと思います。勿論、政策の見直しは都度必要だと思いますが。(80代女性)

・今の自営業は非常にきびしい。ボーナスも無けりゃ退職金もない。もちろん何の保障もない。仕事が減少する中、これらを積立てる資金がないので有る。サラリーマン以下の生活をしている。(60代男性)

・2年前まで清掃業パートをやりましたが、腰痛になり仕事をやめ、無職になりました。(70代女性)

・年金生活者。該当せず。(70代男性)

・年金生活。(70代女性)

・小泉内閣以降、中小企業が激減している。強い者が勝つ経済合理性を追求したための悪策のため動物でなく人間の世界では裁判も必要と思う(60代男性)

・年金暮らし(80代男性)

・少ない年金で生活しています(70代女性)・

・支払いが厳しい(30代女性)

・仕事数が数年前にくらべて減ってきた上、下請けをしているので値段を二段階で下げられている。4年前に比べて35%カットです。印刷業(小物専門です)(40代女性)

・一応自営業ではあるが年々収入が落ち込むのでパートで補っているが健康を害すればすぐに生活に困ることになる。(70代男性)

・年寄りからの税金が高すぎる(70代女性)